

■源俊明 公卿。白河院の別当となり、優れたバランス感覚で、院と摂関家の間をとりもった。

みなもとのとしあき

・ ・ ・ ・ ・ 1044＝ 醍醐源氏源隆国の三男に生まれる。母は、能吏で「左経記」遺した源経頼の娘。同母兄に隆俊・隆綱。

幼時から、何事があっても泣かないことで知られ、
前九年の役始1051＝ 7歳：

平等院鳳凰堂1053＝ 9歳：御冷泉天皇皇后藤原寛子の御給で、叙爵。

・ ・ ・ ・ ・ 1057＝13歳：侍従。

この間、昇殿を許され、
・ ・ ・ ・ ・ 1061＝17歳：従五位上に進み、父の職を継いで加賀守に任じ、左近衛権少将となる。
前九年合戦終1062＝18歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1066＝22歳：四位に進み、
左右少将、皇后(藤原歎子)宮亮、播磨介などを歴任、
後三条天皇・1068＝24歳：かつて父隆国から不快な思いをさせられた後三条天皇が即位して、隆国の子たちに意趣返ししようと思ったが、まず隆俊の優れていることを知り、次に隆綱の文に感心、最後の俊明には内裏火災の際に、その働きで恥をかかずに済んだことで、いずれも重用することになったと伝えられる。白河院の乳母子を室に迎え、

・ ・ ・ ・ ・ 1071＝27歳：初子が誕生するなど、
白河天皇即位1072＝28歳：この年即位したのちの白河院の信頼を得ていたことは間違いなく、
「名門の末っ子として、やんちゃで楽天的に育ち、風流には全く疎かったが、公事に才能を発揮し、
藤原頼通没・1074＝30歳：長く父隆国を庇護してきた頼通が死去。次兄隆綱が死去。左中將に転じて、「白河天皇の蔵人頭となり、
・ ・ ・ ・ ・ 1075＝31歳：長兄隆俊も死去。*参議に昇る。
侍従、周防権守を兼ねる。
・ ・ ・ ・ ・ 1077＝33歳：父隆国が死去。従二位、中宮(賢子)権大夫。「庇護者を全て失い、一門の長たることを余儀なくされて、白河院が寵愛した中宮賢子の外祖父代りという存在となり、
・ ・ ・ ・ ・ 1079＝35歳：右衛門督を兼ね、検非違使別当となる。
・ ・ ・ ・ ・ 1080＝36歳：

早くから遅刻癖で有名で、のち行事の上卿などを多くこなすようになって度々遅参し、皮肉られる。
・ ・ ・ ・ ・ 1082＝38歳：権中納言、
後三年の役始1083＝39歳：正一位となり、中宮正大夫に転じたが、
・ ・ ・ ・ ・ 1084＝40歳：中宮賢子が死去して白河院が悲嘆。検非違使別当を辞す。

「代々摂関家と間は極めて良好で、自らも摂政藤原師実の家司のごとく奉仕しており、
院政始・ ・ ・ 1086＝42歳：白河院政が始まると、
奥州藤原氏始1087＝43歳：*早くも院司になったともいわれ、
・ ・ ・ ・ ・ 1088＝44歳：治部卿となり、
・ ・ ・ ・ ・ 1089＝45歳：太皇太宮(寛子)大夫を兼ねて、「摂政師実に従仕するとともに、院側近として、双方の連絡に当たる。

・ ・ ・ ・ ・ 1091＝47歳：病気のため官職辞したいと上表するが、
・ ・ ・ ・ ・ 1092＝48歳：資力と手腕を当てにされて、御願寺法勝寺の上卿に抜擢され、
・ ・ ・ ・ ・ 1093＝49歳：女院別当に任じられ、
清衡平泉居城1094＝50歳：治部卿から民部卿に遷る。
かなりの負担を強いられながら、奉仕に努め、

・ ・ ・ ・ ・ 1097＝53歳：権大納言を経て、
武家院昇殿始1098＝54歳：
康和荘園整理1099＝55歳：関白師通が急逝、
・ ・ ・ ・ ・ 1100＝56歳：ついに父隆国を超えて、*大納言に至り、名実ともに朝堂に重きを成す存在となる。
・ ・ ・ ・ ・ 1101＝57歳：師実も死去。白河院の五十賀の行事上卿に任じられ、
・ ・ ・ ・ ・ 1102＝58歳：無事大任を果たす。この年落慶供養となった堀河天皇の御願で実質院が主導した尊勝寺の上卿も務める。

中尊寺始・ ・ ・ 1105＝61歳：正月定例の叙位を執筆、
・ ・ ・ ・ ・ 1106＝62歳：法勝寺・尊勝寺の上卿を辞す。
白河院政確立1107＝63歳：本来大臣の役目である県召除目の執筆の名誉を初めて勤める。「堀河天皇が死去、踐祚についての指示を仰ぐべく院のもとに派遣され、院の閉じこもる寝所に押し掛けて、外から決断迫り、適当な返事を諒解したことにして、摂政忠実が実現できるようにして、摂関家の危機を救う。

・ ・ ・ ・ ・ 1108＝64歳：豊明節会の内弁、
・ ・ ・ ・ ・ 1111＝67歳：白河院の五十賀の行事上卿、
・ ・ ・ ・ ・ 1112＝68歳：白馬節会の内弁、
永久の変・ ・ ・ 1113＝69歳：鳥羽天皇元服の上寿の役など、「大任を果たすとともに、重事には必ず諮問を受け、源俊房・大江正房とともに「時の賢人」と称えられたが、
・ ・ ・ ・ ・ 1114＝70歳：参院後発病、なおその経験を頼られて出勤するも、重態に陥り、出家して、「没した。